

研究談話委員会からの報告について

Reports from the Research Discourse Committee

研究談話委員会

Research Discourse Committee

2020年度の研究談話委員会は、第1回研究談話会（オンライン開催7月18日）「コロナ危機をどうとらえるか」（報告者：古沢広祐）、第2回研究談話会としては「コロナ禍と総合人間学」（9月12日）報告1「新型コロナをどうとらえるか？」（報告者：宗川吉汪）、報告2「共苦か怨恨的復讐か？ - コロナ禍問題が再び浮かび上がらず問題軸」（報告者：清真人）、第3回研究談話会としては「学術会議問題と学会声明から、学会と学問のあり方を考える」（11月7日）（報告者：三浦永光、柳沢遊、降旗信一、木村武史）を開催した。

電子ジャーナルでの報告としては、宗川吉汪氏、清真人氏、柳沢遊氏の3名の方の報告内容について掲載させて頂く。別に書籍版においても、関連した内容が掲載される予定なので、合わせてお読み頂ければ幸いです。

[ふるさわ こうゆう/研究談話委員会 委員長]